

# 非核平和への流れへ

8月8・9日の2日間、市民プラザで「平和のための戦争展」が開かれました。(主催は治安維持法犠牲者国家賠償請求同盟)

満州事変から第二次世界大戦へ。侵略戦争への道へ突き進んだ日本の戦争史を、約80枚ほどのパネルにして展示したものです。

アメリカのオバマ大統領の核兵器廃絶の訴えもあり、今年の夏は格別に平和への思いが強く感じられます。

長崎・広島を平和記念式典には上越市からも中学生が派遣されました。

「二度と戦争は起こすまい」全市民の熱い願いです。写真は市民プラザで行われた戦争展。

二度と戦争は起こすまい



## にぎやかに「くびきの祭典」

8月8日、9日の2日間、頸城区でくびきの祭典が行われました。あいにくの不順な天候でしたが、最大のイベントである大民謡流し(夕方から実施)は区民の熱い心で雨を吹き飛ばし、にぎやかに行われました。上野議員は来賓として参加し、「オープニングセレモニー」でくすだま割りを行いました。雨模様でしたが、2日間で1万5千人以上(主催者発表)が参加しました。



# はしもと正幸農民部長と党上越市議団 「国の政治を変えてこそ」と市民の暮らしを守る先頭に



はしもと農民部長(左から3人目)と中野さなえさん(右から3人目)4人の市議団も勢ぞろい。左から橋爪法一市議団長、上野公悦幹事長、右から平良木哲也、樋口良子議員。

8月5日(水)夕方、ジャスコ上越店近くのかに池公園前は、日本共産党の街頭演説に、たくさんの市民の皆さんの熱気であふれました。

はしもと正幸党上越地区農民部長を先頭に、党上越市議団の4人も勢ぞろいです。長野中央病院の発達相談員として、子どもの発達や育児相談活動を行ってきた中野さなえさんがマイクを握って、日本共産党の政策を訴えました。

はしもとさんは「私は長い間、農協に勤務し、自らも農業を営んできました。今農業と農家の暮らしが壊されているとき、農業を守ることのできるのはいません」と訴えました。中野さんは、開口一番「農業も暮らしも福祉も医療も、すべてだめにしてしまったのは他ならない自民党・公明党の政治ではありませんか!」と指摘。多くの聴衆から「そうだ!」の大きな声があがりました。

樋口良子市議の司会で進められた街頭演説会、二人の弁士は、雇用や社会保障、子育てや農業・中小企業支援、平和の問題と次々に分かりやすく政策を訴えました。

「後期高齢者医療制度の廃止」、「高齢者と子どもの医療費を国の制度として無料にすること」、「高校の授業料無料化」、「就学援助の充実や母子加算の復活などで子供の貧困をなくすこと」、「価格保証でコメ1俵1万8千円に」・・・。

こうした政策の実現や、高すぎる国民健康保険税の軽減など市民の皆さんの切実な願いの実現のためには、もちろん党市議団と市民の皆さんの共同が大切なのはいうまでもありません。しかし根本的にはやはり「国民が主人公の新

しい日本へ」変えることです。

日本共産党市議団は、市民の暮らしを守る先頭に立ちます。

力を合わせてがんばりましょう。



## 日本共産党上越市議員団ニュース

No.195 2009年8月16日

連絡先	橋爪 法一	548-3628	(吉川区代石)
	樋口 良子	544-6802	(中門前3)
	上野 公悦	530-2203	(頸城区中柳町)
	平良木 哲也	525-9096	(上中田)